

一関支部青年部廃品回収事業報告書

目的

一関支部青年部は、青年部会員で廃品回収をし、買取業者へ売却し、得た利益を「台風10号被災工場」及び一部「一関地区交通安全協会」へ寄付する。

記憶に新しい昨年8月30日(火)に、岩手県を襲った台風10号ですが、太平洋沖を勢力拡大しながら、東北に初上陸するという極めて異例な台風でありました。事前にメディアを通じ、注意勧告がなされた事から、30日は、当管内の学校や企業・商店等多々臨時休業となるなど、異様な雰囲気となりましたが、その夜のニュースには宮古駅前及び久慈駅前が完全に冠水した映像。又は岩泉の老人ホームの惨状が映し出されました。

久慈支部・宮古支部の同業会員の為、また、自動車業界として社会的使命の一環である「交通事故抑止」への貢献として、一関地区で交通事故抑止運動を行っている「一関地区交通安全協会」へ寄付する。

実施要領

当青年部の上部組織である、岩手県自動車整備振興会一関支部の会員事業場全てへ、支部長・青年部部長連名で、目的や、内容を記した協力依頼文章をFAXし、名乗り出ていただいた事業場へ、青年部会員が取りに伺い、一度集約した廃品を業者に排出し、業者より入金された廃品回収益金を、寄付する形で、進めました。

詳細事項

- ※ 実施日は平成29年8月5日(土) 午前9時～
- ※ 廃品回収事業は、青年部幹事会で立案・決定した。

※ 益金は 196,371 円

※ 当日は 10 名の青年部会員。

※ 買い取り業者は、花泉町の(株)ヨシムラ様です。

活 動 写 真

